

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
まちづくりカンパニー

編集責任者
野々口 義信

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

夏まつり延期

新型コロナウイルスの患者数急拡大と猛暑による熱中症を懸念し学区自治連合会は、16日開いた定例役員会で、7月30日に開催を予定していた学区夏まつりを今秋開催に延期することを決めた。

新型コロナウイルス禍で2年間中断していた夏まつりについて、学区自治連合会は、まつりを運営する実行委をリニューアル化、組織、運営体制の見直し、新型コロナ対策などを定め、日吉台小グラウンドで3年ぶりに開催することにした。

測史上まれにみる速さで、梅雨が明け、猛暑による熱中症の心配も出始め、夏まつり実行委は7月9日、臨時事務局会議を召集。同まつり実行委員長を務める野々口義信学区自治連合会長、自治連役員を交え対応策を検討した結果、6月中旬に1日200人前後で推移していた県内のコロナ感染者数が7月に入ってほぼ倍増、まつり開催日の7月下旬

までの収束は考えにくく、参加者のマスク着用が必須となるなか、特に高齢者の参加も多い出店テナ

トの設営、テント内の食品調理などは、マスク着用による熱中症リスクが高くなることから、新型

コロナと熱中症のダブルリスクを避けるため、まつり延期の結論に達した。

10月22日午後1時、昼間開催

延期の夏まつり

学区夏まつり実行委員会は7月24日、事務局会議を開催、コロナ禍で延期を決めた今年の夏まつりについて、10月22日の土曜日、午後1時から午後3時半まで日吉台小グラウンドで昼間開催することを決めた。雨天の場合は順延しない。



この日の事務局会議は、延期夏まつりの開催日時決定、出店、出演、事務局体制など延期にかかる調整などを議題に協議を行い、学区内で予定している秋の行事、イベントなどと日程がダブらない

か、秋開催での問題点、注意点なども検討され、例年夏まつりは夜の開催だったが、この時期は日の入りが早く、気温が夜になるとぐっと下がり、寒くなる。周囲の安全が確認しやすく照明設備設置など作業、経費など負担の軽減がはかれるなどの理由で昼間開催を決定した。今後コロナ感染状況を見守りながら準備を進めることにした。写真。

新自治組織、研究へ

学区まちづくりカンパニーに調査、情報収集作業依頼

学区自治連合会は、学区自治連合会定例役員会の同意に基づき7月初め、「学区まちづくりカンパニー」(会長、濱崎博元学区自治連合会長)に対し、市が提唱する新地域自治組織「まちづくり協議会」設置問題についての調査、研究を行うよう要請した。

市の提唱の「まちづくり協議会」は、任意団体の自治連合会、各自治会と違い、学区のすべての団体、住民が加盟、包括して活動する新組織。日吉台学区は、過去にまちづくり協議会を設立、空き家対策事業、日吉台新聞編集、発行事業、野菜マルシェ事業、自治連合会改革案検討、江若バス対策などのまちづくり

事業を行っていたが、市がいう「まちづくり協議会」は性質が違うもので混乱を避けるため現在は「まちづくりカンパニー」として活動している。学区自治連合会が今回、市が推奨するまちづくり協議会設立について検討するのは、他の学区の多くがすでにまち協を設立し、公民館のコミセン化などの活動をはじめとしていることが背景にある。しかし、このまちづくり協議会の運営には、メリット、デメリット、組織内容、運営の仕方、自治連合会、自治会、各組織の在り方補助金配分など不明な部分があり、分からないことも多く制度がどんなものか、調査、検討からはじめることにした。

ため学区自治連合会も恒例の夏まつりを秋に延期開催を決めたため、ラジオ体操も中止することにした。

「まちづくりカンパニー」は、8月の会議で調査、研究の進め方を協議することにした。

ラジオ体操も急遽中止

今夏、コロナ急拡大で

日吉台青少年育成学区民会議の夢・未来事業推進委員会は、7月21日から8月10日まで、日吉台小グラウンド開催を予定していた夏休みラジオ体操の中止を決めた。

同事業推進委員会は、当初、今年のラジオ体操

企画、運営公募者集まらず

日吉台文化祭は中止

学区の文化活動の成果を披露する秋の一大イベント、「日吉台文化祭」は、運営体制が整わない、として中止されることになった。開催準備に向

け協議していた日吉台公民館、学区自治連合会執行部、文化祭実行委関係者、公民館利用団体らによる中止報告を7月16日開いた学区自治連合会定

例役員で了承した。日吉台文化祭も学区の夏まつりや運動会などと同様、新型コロナウィルス感染症の影響で令和2年度、3年度と2年連続

で中止されている。2年のプランクを埋めるため学区自治連合会などは、夏まつり実行委のリニューアル化に習って文化祭の企画、運営者を学区民か

ら公募、この秋の文化祭実行委を一新することにした。

ところが、この公募に学区から公募があったのは、わずか1人。この事態を憂慮し、自治連合会、実行委役員関係者、日吉台公民館らが集まり協議したが、「学区民からの公募で運営者が集まらない以上、開催は不可能」として開催見送りを学区自治連合会に報告した。

開催について、新型コロナウィルス感染対策を講じたうえで3年ぶりに実施することにした。しかし例年になく早く梅雨が明け、7月に入ってからコロナ感染者が急拡大。猛暑による熱中症リスクとコロナ感染予防の

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

制限速度を守り 終端付近では最徐行

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう

夜の歩行時は明るい色の服・反射材を



日吉台児童クラブの子どもたちに木工作品をプレゼントする吹田さん

木工作品、児童クラブの子らに寄贈

能面作家、吹田さん手づくり

学区の子どもたちが通う児童保育所、日吉台児童クラブ(古川尚美代表)に、日吉台3丁目東在住の能面作家、吹田照義さんが、手づくりの木工作品を寄贈、夏休みが始まった7月21日、吹田さんが児童クラブを訪れ、子どもたちにプレゼントした。

寄贈したのは、汽車やト

ラック、組木パズル、輪投げなど吹田さんが、本職の能面制作のかたわら作り上げた木工作品28点。同クラブでは、8月開催のお楽しみ会のビンゴゲームの景品などに活用したい、と喜んでいました。

日吉台合唱団

合唱祭賞を受賞

栗東市の栗東芸術文化会館さくらホールで6月12日行われた第67回滋賀県合唱祭(第45回全日本おおかあさんコーラス関西支部滋賀県大会)で、日吉台合唱団が、合唱祭賞を受賞した。

この大会は、新型コロナウイルス禍の影響で3年ぶりの開催。県内32のコーラスグループが参加。日吉台合唱団は、女声合唱とピアノのための組曲「南の絵本」から

「だれもいそがない村」「てがみ」を披露、素晴らしい歌声をホールに響かせ、審査で合唱祭受賞の12団体のひとつに食い込んだ。

日吉台合唱団(中村千香子団長)は、団員22人。コロナ禍の今、感染対策に配慮しながら毎週土曜日の午前中、日吉台市民センターで練習、団員は40歳代から80歳代、地元

困ります!そのオシッコ!!

マナーを守りましょう!



犬のトイレは適切な場所で!

※ 犬の散歩の際は、フン尿の始末ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

大津市動物愛護センター

3年ぶりの琵琶湖一斉清掃



大津市の琵琶湖を美しくする運動実践本部が呼び掛けた日吉台学区の琵琶湖市民清掃は、6月27日、学区全域で行われた。この琵琶湖市民清掃、昨年は新型コロナウイルス禍が落ち着きをみせていたもの各丁で参加にばらつきがみられ、一斉清掃となるのは、2019年以来3年ぶりとなる。

この日は、朝から晴れわたり熱中症を警戒しての一斉清掃。各丁からほぼ例年並みの886人が参加、草刈ガマや竹ぼうき、熊手など思い思いの清掃用具を手に地区の道路や斜面、側溝などの作業に汗を流し地域をきれいにした。(写真は学区内を清掃する参加者)

防犯功労者に松本さん

市防犯協会表彰、伝達



市防犯協会の防犯功労者表彰を受ける松本さん

地域の防犯活動に功績があったとして、日吉台3丁目、松本秀雄さんが

大津市防犯協会(会長、佐藤健司大津市長)から防犯功労者として表彰さ

れた。新型コロナウイルスで、今年度当初の市防犯協会の総会が書面評決開催となり、表彰式ができなくなつたため、表彰者の顕彰を各学区に依頼があり、7月16日開いた学区自治連合会定例役員会の席上、表彰伝達した。

松本さんは、平成25年から日吉台自主防犯推進会として夜間パトロールや日吉台小児童の登校時

の見守りに従事。また、学区内のボランティアの中心となって学区の子どもの安全を守る活動に尽力した。また、学区内で行方不明者の捜索にも積極的に加わり、ボランティアで学区の防犯カメラや光センサーライトの取り付けなども行い、学区の防犯活動に大きく貢献した。

つながる安心

お出掛けの際は
スマホ・携帯を持ちましょう

